

頁	行・箇所	誤	正
5	図2 キャプション	人頭税の象徴となった宮古島荷川取の人頭税石(1910年頃)	人頭税の象徴となった宮古島荷川取の人頭税石(1936年頃)
19	注4	『沖縄県政要覧』	『沖縄県勢要覧』
307	後ろから9行目	与那原村の男性は	与那原の男性は
387	後ろから7行目	台湾を除いて	台湾を含む
409	前から8～9行目	それぞれの棟に収容した(図2)	それぞれの棟に収容した(図3)
546	表1 2 嘉義丸	出港地→目的地 鹿児島→名瀬	出港地→目的地 鹿児島→那覇
564	4行目	中城湾要塞病院(与那原村)	中城湾要塞病院(与那原)
638	前から3～4行目	宜野座市の全収容人数である約三万七〇三〇人の実に八五パーセントに相当する七万人もの人々が、	宜野座市の全収容人数である約三万七〇三〇人の実に八六パーセントに相当する三万二〇〇〇人もの人々が、
727	後ろから5行目	『沖縄俘虜記』を、吉田久一が『八重山戦日記』を刊行した。	『沖縄俘虜記』を、五三年には吉田久一が『八重山戦日記』を刊行した。
727	後ろから3行目	また同年には	また四七年には
732	前から1行目	『沖縄 民衆の眼でとらえる「戦争」』	『沖縄戦 民衆の眼でとらえる「戦争」』
733	後ろから7行目	〇四年に	九九年に
734	後ろから3行目	〇七年	〇六年
735	前から7行目	『沖縄戦 全記録』	『NHKスペシャル 沖縄戦 全記録』
739	前から10行目	九九年に東風平町史と『戦争関係資料』	九九年に東風平町史『戦争関係資料』『戦争体験記』と
740	前から4行目	沖縄戦関係書の刊行数は一二三六冊である。	沖縄戦関係書の刊行数は一二三九冊である。
741	前から5行目	一二三六冊	一二三九冊
740	図3	(1980年)17冊	(1980年)18冊
741	図3	(1951年)1冊、(1954年)1冊、(1961年)4冊、(1972年)17冊	(1951年)2冊、(1954年)0冊、(1961年)5冊、(1972年)18冊
769	最終行	6月19日 米第十軍司令官バックナー中将、真栄里で戦死。	6月18日 米第十軍司令官バックナー中将、真栄里で戦死。